

広いエントランスとアカデミックプロムナードへ続く階段街と、学生らの憩いの場のアカデミックプロムナード



金沢大学 薬学部 キャンパス紹介

国立大学法人化を迎えた2004年4月に金沢大学薬学部は医学部や附属病院がある宝町キャンパスから、理学部、工学部と共に角間キャンパス内の新校舎に移転した。特にユニークなのが学部固有の建物を持たず、理系3学部と薬・理・工の大学院が一体化した自

薬学部の独自建物なく 理、工、大学院と同居

自然科学研究科の建物

金沢大学薬学部の歴史は1867年に卯辰山に製薬所と薬草園が設置された138年前に始まる。日本で最も古い薬学部になる。金沢大の総合移転計画によって角間キャンパスへ。自然科学研究科関連の建物は、本館、福利厚生施設、自然科学系図書館のほか、各学部が共同で利用する講義棟、1～3号館(7階建て)がある。各号館の1階には学部教育棟として実習施設が設置され、2階以上は大学院の研究棟。薬学部は1号館1階に学部教育棟を、その上階に薬学関係のエリアが集積する。同じ階でも廊下続きの隣のブロックは理学系や工学系のエリア。薬学部独自の建物もなく、明確な区切りも存在しないユニークな造りだ。

各館には天井まで続く吹き抜けのテクニカルボイドがあり、それを挟む形で教員室と実験室を完全に分離している。実験室の隣にはデスクワーク用の学生研究室が設けられている。前薬学部長で自然科学研究科長の辻彰氏は「学部のアイデンティティは建物に求めるのではなく、講義とシラバス(教育内容)にある。そういう発想でこのような建物ができあがった」と語る。

来年度からの6年制教育導入に向けて、金沢大薬学部は定員を6年制35人、4年制40人と、4年制にやや重きを置いた形にした。6年制と4年制を一括募集し、3年次後期に成績や希望などによって振り分けるシステムだ。薬学部長の石橋弘行氏は、「6年制は高度な医療社会に対応できる薬剤師を育成しようとしてい

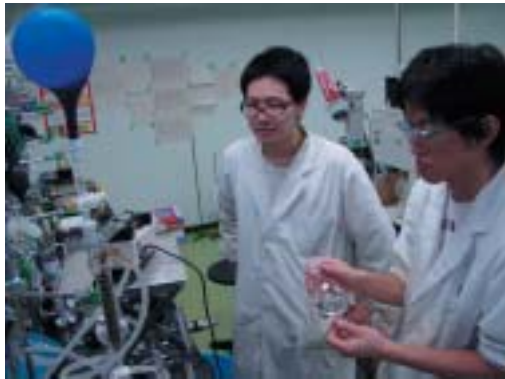
る。一方で日本の薬学は欧米の薬学と異なり、研究者の育成に大きな割合を占めてきた。日本の薬学から研究を外せば科学が衰退しかねない」と話し、質の高い薬剤師の養成と共に研究者の育成にも力を入れていく考えだ。

金沢大学薬学部教員の一部が主体となって2002年、NPO法人「健康 環境 教育の会」を設立した。薬学生の実務実習を担う「アカンサス薬局」や臨床試験の地域ネットをサポートする「北陸臨床試験支援センター」などを運営している。同法人理事長でもある辻氏は「薬剤師は創薬・育薬にも関わっていくべき。だが薬学部には臨床試験や開発に精通している教員が少ない」とした上で、「臨床試験の支援に薬学出身者が関わる環境をつくるため、センターを立ち上げた」と語り、大学教育への展開も視野に入れている。

自然科学研究科が融合する複合型校舎。互いに有機的あるいは機能的に連携できる教育・研究を行う施設が整備されている。



教育・研究環境を充実



実験室での研究風景

東薬大など熱戦を展開



東薬大が杏林大に勝利

スポーツの秋、第53回「関東医歯薬大学ラグビーリーグ」が、9月から開催されている。薬学部を含むチームは昭和大学、帝京大学、東京薬科大学の3校。

同リーグは、関東一円の医歯薬系大学及び学群のラグビーチームが参加しており、1部、2部、3部、4部A、4部Bの4リーグ5ブロックで構成されている。

9月25日には東京薬科大学が帝京大学に圧勝、東京薬科大学は10月2日にも杏林大学医学部を退けた。

全ブロックの試合が終了する12月11日には、入れ替え戦を行う予定だ。上位リーグ準最下位校と下位リーグ2位校、上位リーグ最下位校と下位リーグ1位校が対戦し、結果によってチームの入れ替えを行う。なお、同点の場合は上位リーグのチームが残留する。

関東医歯薬大学ラグビー

医療系リーグに参加しているクラブ活動についての情報提供を、下記アドレスまでお願いいたします。
e-mail: amano_t@yakuji.co.jp

日本全国の地域医療の貢献に積極的に歩みつづけています。

充実した教育制度で薬剤師のキャリアアップをサポート。全店舗に展開された自社開発のシステムで、薬剤師の判断と日々の業務をサポート。

調剤報酬高全国1位の実績は、患者様からの信頼の証です。

日本調剤株式会社

〒104-0028
東京都中央区八重洲2-8-1 日東紡ビルディング10階
TEL:03-3510-6131 FAX:03-3510-6140
URL:http://www.nicho.co.jp
関連会社：日本調剤ファルマスタッフ株式会社、日本ジェネリック株式会社

